

Odds Park Club

Graded Dirt Races

- 7/ 4 スパーキングレディーカップ JpnⅢ(川崎)
- 7/10 ジャパンダートダービー JpnI(大井)
- 7/15 マーキュリーカップ JpnⅢ(盛岡)
- 8/12 クラスターカップ JpnⅢ(盛岡)
- 8/14 サマーチャンピオン JpnⅢ(佐賀)
- 8/15 ブリーダーズゴールドカップ JpnⅢ(門別)
- 9/12 テレ玉杯オーバルスプリント JpnⅢ(浦和)
- 9/23 日本テレビ盃 JpnⅡ(船橋)

vol.54

2019.7~9

佐賀競馬場特集

ジョッキーインタビュー
竹吉 徹 騎手



歴史の ひとコマ 佐賀競馬場

佐賀生え抜きの血をつなぐ

地方馬が中央との交流重賞を勝つのはなかなか難しい。さすがに南関東では年にいくつかは勝つことがあり、北海道でも2歳戦ならば互角の勝負になっている。そのほかの地区では、岩手のメイセイオペラ、トーホウエンペラー、笠松のラブミーチャンなどがGI/JpnIを勝っているものの、そうした活躍は容易なことではない。

佐賀では、開設記念（現・佐賀記念JpnIII）が中央との交流になって2年目の1996年に牝馬のリンデンニシキが勝った。その後2001年にサマーチャンピオンが創設されたが、その2つのダートグレードを地元佐賀所属馬が制したのは、ここまでのところそれが最初で最後。

しかしながら、佐賀から北海道の門別に遠征してエーデルワイス賞を制した馬がいた。2003年のエスワンスペクターだ。

デビューから2連勝での遠征。とはいえ経験豊富でレベルの高いホッカイドウ競馬



門別に遠征しエーデルワイス賞を制したエスワンスペクター

の2歳戦、しかも中央との交流重賞に九州から挑戦するのは無謀にも思われた。当然のことながら16頭立ての10番人気という伏兵扱い。「行けるだけ行く」と決めていたという山口勲騎手。11番枠からでも押してハナを取り、何頭かにかからまれたものの直線に向いて単独先頭。ゴール前、地元北海道のケイジーロマンに迫られたものの、クビ差で振り切った勝利となった。

あらためて当時のことを、管理していた手島勝利調教師に振り返っていただいた。「前年のエーデルワイス賞に、（同じ佐賀の）真島元徳厩舎のシャインカシオペアが挑戦して7着でした。それを見て、これはという馬がいれば、とにかく外に出て挑戦したいと考えていました。それでもさすがに掲示板くらいあればと思っていましたから、直線は叫びっぱなしでした」

エスワンスペクターは、年明けに花吹雪賞を制し、続く古馬B級戦も制したが、そ

れが最後の勝利となった。

「遠征の反動はあったのかもしれませんが。だから産駒のエスワンプリンスは、ダービー（栄城賞）までは遠征しないと決めていました」

エスワンプリンスは、エスワンスペクターの二番仔で、同じく手島調教師が管理。2歳時に一度2着に敗れたのみで、当時佐賀の一冠目だった飛燕賞を勝利。九州ダービー栄城賞を8馬身差で圧勝し、通算成績を8戦7勝とした。そして初めての遠征競馬は3歳夏の大井・黒潮盃。5番人気とあまり評価されなかったが、JpnIIの関東オークスを制していたアスカリブルに0秒2差の3着と好走。佐賀に戻ってロータスクラウン賞を勝って佐賀三冠を制した。さらに5歳時、園田FCスプリントを制して遠征競馬でもタイトルも獲得した。

エスワンスペクターの母レディープロスパーは1993年に重賞・佐賀場外オープン記念天山賞を制しており、エスワンスペクターは佐賀でその血をつなぐ役目も果たした。

「親子揃っての活躍には、感謝しかないですね」（手島調教師）

斎藤 修（さいとう おさむ）

1964年、埼玉県生まれ。OddsPark競馬『斎藤修の重賞ピックアップ』で全重賞レースの予想を公開。グリーンチャンネル『地方競馬中継』解説。NAR『Web Furlong』、『週刊競馬ブック』、『優駿』などに執筆。



第40回 王冠賞

8月1日(木) 3歳 門別1800m

北斗盃、北海優駿（ダービー）に続くホッカイドウ競馬の3歳三冠の最終戦。これまで三冠を制したのはトヨクラダイオー（1981年）、モミジイレブン（1999年）、ミヤマエンデバー（2001年）、クラキンコ（2010年）の4頭のみ。特に牝馬クラキンコは当時2600mと過酷な舞台であったが、これを勝利し、牝馬として初の三冠達成。また、父クラキングオーとともに親仔2代で王冠賞制覇を成し遂げている。2017年には岩手所属馬として参戦したベンテンコゾウが二冠を制したが、三冠をかけて断然の人気で臨んだ王冠賞では3着に敗れている。勝ったのは、翌18年の4歳時に重賞6連勝と無類の強さを誇ったスーパーステーションであった。

第43回 岐阜金賞

8月29日(木) 3歳 笠松1900m



2018年岐阜金賞 クリノヒビキ

近年は10月に施行されていたが、今年は8月と例年より2カ月ほど早く行われる北陸・東海・近畿地区交流重賞。2017年からは3歳秋のチャンピオンシップの対象レースになっている。11年にデビューから9連勝（重賞6連勝）でこのレースを制した兵庫・オオエライジンなど、近年の優勝馬には兵庫や名古屋の所属馬が名を連ねており、地元・笠松からは10年のマルヨサイレンス以来優勝馬が出ていない。また、11年以降は東海ダービーまたは兵庫ダービーで連対していた馬が1頭以上3着以内に入っている。18年には兵庫ダービー2着のクリノヒビキが、東海ダービー2着のサムライドライブを差し切って勝利を挙げている。

第4回 西日本ダービー

9月16日(祝・月) 3歳 高知1900m

2016年に新設された西日本6県（石川県、岐阜県、愛知県、兵庫県、高知県、佐賀県）の各競馬場生え抜き馬が集う交流重賞。17年からは3歳秋のチャンピオンシップに組み込まれている。第1回は園田競馬場で行われ、地元兵庫のマイタイザンが優勝。佐賀競馬場で行われた第2回では高知所属のフリビオンが、金沢競馬場で行われた第3回では兵庫所属のコーナスフロリダがそれぞれ制し、この2頭はともに地元のダービーと合わせてダービー2勝を達成。また、上記3頭はいずれも1番人気での勝利だった。18年には、同年8月に地方競馬通算最多勝利記録を更新した大井の的場文男騎手が金沢のロンプフェイスに騎乗したことに注目が集まった。



2018年西日本ダービー コーナスフロリダ

写真●ばんえい十勝

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●十勝の朝は『なつぞら』

朝の連続ドラマ『なつぞら』を楽しみに見ている。十勝が舞台で、昭和25年生まれの私にとって時代背景も近いせいかもしれない。役者とはいえ主人公のなつちゃんが、大きな牛を相手に上手に乳搾りをしたり、スキーを履き雪原を歩くシーンなどを見ていると思い出すのが、平成17年の第18回東京国際映画祭で四冠を受賞した映画『雪に願うこと』。ばんえい競馬を題材にした映画である。

当時、朝の厩舎廻りをしていた時、舞台になった平田義弘厩舎に新人の厩務員が2人いた。古い厩務員に聞くと「映画の撮影のために厩舎生活の実体験がしたいと、助監督2人が厩舎に住み込んで馬



3月24日 ばんえい記念 センゴクエース

の世話や運動をしているらしい。あとで役者さんたちに技術指導をするそうだ」。ベテランの厩務員でも極寒のなか、早朝からの厩舎作業は厳しいが、つらい顔も見せずに仕事をするのが感心していた。撮影が始まると映画大好き人間の私も、仕事の合間に見学させてもらったが、初めて見る映画作りの現場は驚きの連続だった。一本の作品を作るため関わるスタッフの多さ、また何度も繰り返されるリハーサルや、部外者には良く分からない「何々待ち」という長い待ち時間も、極寒の中、本当に普通に自分の仕事を淡々とこなしている裏方さんなどを見ていると、彼らの映画に対する熱い情熱を感じた。

ばんえい競馬関係者も同じで、強い馬を作るため、それは馬が誕生する前から

始まっている。親、兄弟馬の血統を学び、当歳から手をかけ、厳しい能力試験を経て晴れて競走馬になってからも、多くのライバルとの闘いを勝ち抜き、選ばれし馬だけが出走できる負担重量1000キロレース・ばんえい記念の優勝馬が最高作品の完成である。また、大きなレースでは勝ち切れず、無冠でも高齢まで走り続け無事は名馬といわれる幸せな馬もいる。

文●小寺雄司



5月5日 ばんえい十勝オッズパーク杯 オレノココロ

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/3	イレネー記念(3歳)	200	メモロボブサップ(牡3)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
3/10	ポブラ賞(4歳・5歳)	200	メジロゴリーキ(牡5)	西 謙一	ばんえい・松井浩文
3/24	ばんえい記念(4歳以上)	200	センゴクエース(牡7)	工藤 篤	ばんえい・梶舘重人
5/5	ばんえい十勝オッズパーク杯(4歳以上)	200	オレノココロ(牡9)	鈴木恵介	ばんえい・梶舘重人

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

●夏競馬は3歳、古馬戦も盛り上がる

4月17日の開幕から連日、全国のファンの皆さんにお楽しみいただく中で、所属頭数も出走頭数も拡大基調を辿っているホッカイドウ競馬。競馬開催の最重要要素である競走馬資源の充実が図られ足腰も強くなるに連れ、人気のバロメーターである発売額も急拡大を続けている。

まずはお馴染み、強い2歳馬に関するトピックスから。毎年、そのシーズンに初年度産駒を送り出す新種牡馬の活躍ぶりに注目が集まるのだが、今季はその目立ち方がハンパない。まずはカレンブラックヒル。能力検査初日から産駒が一番



5月21日 赤レンガ記念 スーパーステーション

時計を叩き出すなど開幕前から話題に上っていたのだが、5月16日には牡馬のダリルが、21日には牝馬のアザワクが2週続けての新馬勝ち。しかも好時計での快勝で先々への期待も高まっており、この先も大いに注目していただきたい新種牡馬が、いきなり現れた。このほか、最も早く初年度産駒が勝ち上がったニホンピロアワーズなど計7頭が、執筆時点までに早くも勝ち馬を送り出しており今後にも注目だ。

続いては、3歳・古馬だが、まず3歳では、クラシッケー冠目・北斗盃を快勝したリンゾウチャネルの活躍だ。今季開幕から3連勝には古馬A級の重賞好走馬を相手に逃げて5馬身ちぎる圧倒Vも含まれ、順調なら秋には古馬頂上決戦への挑戦も視野に入ってくるだろう逸材。古

写真●写真のトライ

馬では、昨年暮れの東京大賞典GIで果敢にハナを奪い4コーナー先頭から6着に踏ん張ったスーパーステーションが、今季も開幕から重賞2連勝(コスモバルク記念、赤レンガ記念)と王道を驀進中。帝王賞JpnI、もしくは7月15日・マーキュリーカップJpnIIIへと駒を進める見込みだ。すでに全国区の人気馬となっているが、その名声をさらに高めるタイトルゲットに大いに期待したい。地元重賞路線に目を戻すと、久々の復活Vを挙げ再び頂点を狙うオヤコダカ、船橋から古巣・角川秀樹厩舎に戻ってきたヒガシウィルウィンらも全国の注目を集めること必至だ。

これから、観戦には最も良い季節となる門別グランシャリオナイト開催。日高グルメと合わせ、ぜひとも現地で存分に馬産地競馬をお楽しみいただきたい。

文●ひだか応援隊

●ホッカイドウ競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/23	コスモバルク記念(3歳以上)	1800	スーパーステーション(牡5)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
5/21	赤レンガ記念(3歳以上)	2000	スーパーステーション(牡5)	阿部 龍	北海道・角川秀樹
5/30	北斗盃(3歳)	1600	リンゾウチャネル(牡3)	五十嵐冬樹	北海道・堂山芳則

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●伸び代ある転入馬増えレベルアップ

春の古馬路線は1600メートル戦でスタート。ロジストームが赤松杯、シアンモア記念と勝ち、12月の白嶺賞と合わせ重賞を3勝した。元はJRA中山の芝で新馬戦を勝った馬だが、その後1年半以上の休養期間があるなど順調さを欠き、6歳ながらキャリアはわずか23戦。それでいて10勝と高勝率を誇っている。続く準重賞あすなろ賞は、2年前の岩手ダービー2着馬ハドソンホーネットが逃げ切って初タイトルとなった。ロジストームもハドソンホーネットも岩手生え抜きではないが、南関東との往復を繰り返しながら力をつけていく様子は、現在は船橋



5月5日 シアンモア記念 ロジストーム

に所属しているペンテンコゾウやチャイヤブーンに似ている。一時期はJRAや南関東で頭打ちになった馬が岩手A級の多数を占めていたが、最近は上昇余力のある転入馬が増え、全体のレベルは急速に上がっている。これらに、昨年の岩手4歳以上最優秀馬エンパイアペガサスがオグリキャップ記念4着のあとは地元路線に戻り、JRAで奮闘の続いたラブパレットも岩手復帰予定。短中長距離とも厚みを増した重賞路線が期待できそうだ。

●騎手リーディングに新風吹き込む

ジョッキーのリーディングを見ると、村上忍騎手と山本聡騎手の首位争いは例年通りだが、後続の順位に変動が生じている。活躍が目立つのは昨年デビューして48勝、12位だった岩本怜騎手で、



5月4日 やまびこ賞 グレートアラカー

開幕の3月開催を5勝して2位で発進し、そのあとも好調をキープ。菅原辰徳騎手は昨年デビュー9年目で過去最高の7位となったが今年はそれ以上のペース、2人とも5位前後の位置を守っている。騎乗回数が多く連対率は高くないが、一方で人気薄での好走が少なくないだけに、馬券作戦上キーとなる存在といえる。

文●深田桂一(ケイシュウニュース)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/7	あやめ賞(3歳牝)	水沢 1400	エムワンビーコ(牝3)	関本 淳	岩手・晴山厚司
4/14	赤松杯(4歳以上)	水沢 1600	ロジストーム(牡6)	村上 忍	岩手・千葉幸喜
4/29	留守杯日高賞(3歳牝)	水沢 1600	グロリアスライブ(牝3)	村上 忍	川崎・高月賢一
5/4	やまびこ賞(3歳)	水沢 1900	グレートアラカー(牡3)	高松 亮	岩手・千葉幸喜
5/5	シアンモア記念(4歳以上)	水沢 1600	ロジストーム(牡6)	村上 忍	岩手・千葉幸喜

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●10歳でつかんだ重賞タイトル

昨年末の中日杯でも単勝1番人気に支持されながらスタートで出遅れて大敗するなど、中央オープンで勝ち負けしていた実力がありながら、激しい気性面が災いして、なかなか重賞タイトルに手が届かなかったナガラオリオンが、10歳となつてついに悲願の重賞初制覇を果たした。

舞台は4月28日に行われた4歳以上オープン1900メートル戦の金沢スプリングカップ。スタートでの出遅れはあったが1馬身差ほど。その後ムキになって逃げた馬を抜かそうとかかり気味になったが、1周目4コーナー手前で3番手のポジションに落ち着いた。「今年の金沢



4月28日 金沢スプリングカップ ナガラオリオン

コースは極端な先行有利な馬場状態ではなくなったので、無理に逃げなくても、直線でこの馬の末脚を生かすレースをしたかった」と振り返る中島龍也騎手。以前、吉原寛人騎手に「ハミが抜ければ好位からでもいいけそうな感じはある」と聞いていたのを参考に好位からのレースを試みた。2周目向正面で先に仕掛けたヤマミダンスの動きを見て一緒に上がっていくと、絶好の手応えで並びかけて交わし、4コーナーを先頭で回った。最後の直線は独走状態で、終わってみれば2着のムーンファーストを3馬身離す快勝劇。中島騎手は「出遅れは覚悟していた。引っかけたもうまくハミが抜けたのが大きかった」と勝因を語った。

●今後は地元短距離路線へ

金田一昌調教師は「確かに出遅れたり、うるさかったり課題はあるけど、これだけのパワーを持っていながら、これまで



5月5日 北日本新聞杯 スターキャデラック

重賞を勝ってなかったのが不思議なくらい」と喜んだ。レース間隔が詰まってくるとイレ込んでくる性格をつかんだために「あまり無理のないローテーションで、得意な短い距離を使っていくことを考えている」とうなづく。あまり遠征には出かけずに、日本海スプリント(7月9日)や金沢スプリントカップ(7月23日)など地元の短距離重賞を目標にしていく方針だ。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
4/28	金沢スプリングカップ(4歳以上)	1900	ナガラオリオン(牡10)	中島龍也	金沢・金田一昌
5/5	北日本新聞杯(3歳)	1700	スターキャデラック(牡3)	吉原寛人	金沢・加藤和義

笠松競馬



場番号 42#

●キトキトさらにタイトル加算

オグリキャップ記念でカツゲキキトキトが、またまた王者たる所以（ゆえん）を誇示した。1月の名古屋記念以降、脚部不安で休養・調整していた。「前にケガした爪と違って、筋でちょっと時間がかかって……。動きは今イチだし、追い切り本数も実質1本半ぐらい。今回ばかりは自信までないかな」。主戦で、調教パートナーでもある大畑雅章騎手にとっても期待と不安が半々の復帰戦だった。

しかし、2番手でレースをうかがうと、2周目3コーナーで先頭に立ってそのまま押し切り勝利。着差はアタマとわずかも直線の競り合いになると、闘争本能



4月25日 オグリキャップ記念 カツゲキキト

が再点火し、きっちり仕留めてみせた。「完調でなくても馬自身が競馬を知ってます。さすがキトキトという走りだったね」（大畑騎手）。これで通算重賞19勝。どこまでタイトルを増やしていくか。カツゲキキト復活で東海ファンにまた1つ、楽しみが加わった。

●笹野・尾島調教師が熾烈な争い

笠松ではリーディング・トレーナー争いもホットになっている。5カ月が経過したにすぎないが、笹野博司・70勝、尾島徹・59勝（5月末現在）。3年連続笠松1位に君臨するナンバーワンvs開業5年目の新鋭が、今年は年頭からしのぎを削る。

「騎手時代は確かに（リーディングに）こだわりはあったけど今はそれほど……。オーナーさんはじめ、多くのスタッフが



5月23日 ぎふ清流カップ フォアフロント

いて、チームの勝利ですし、1勝の重みも違います。ただ結果はあとからついてくとも思います」。尾島調教師はさらに話すが、今年も快ペースで勝ち星を積み上げ、東海シーンに欠かせないひとりになってきている。リーディング獲得となれば、記録の残る1976年以降、笠松史上初のジョッキー&トレーナーの〆Wリーディング、の偉業達成となる。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/21	マーチカップ(4歳以上)	1900	メモリージルバ(牡10)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
4/4	新緑賞(3歳)	1600	サウスグラストップ(牡3)	岡部 誠	笠松・尾島 徹
4/25	オグリキャップ記念(4歳以上)	2500	カツゲキキト(牡6)	大畑雅章	名古屋・錦見勇夫
5/23	ぎふ清流カップ(3歳)	1600	フォアフロント(牡3)	佐藤友則	笠松・井上孝彦

名古屋競馬

場番号 43#

●不安跳ねのけエムエスまず一冠

トリマゴラッキー（中京ペガスターカップ）、ゴールドリング（若草賞、東海クイーンカップ）が“鬼の居ぬ間”に重賞ウイナーへ仲間入りを果たしたが、エムエスクイーンが、世代ナンバーワンを改めてファン、関係者に高らかにアピールした。

東海の3歳第一冠と呼ばれる駿蹄賞。エムエスクイーンは1月の梅桜賞優勝のあと、体調・デキが戻らず、予定したレースを次々に回避し、3カ月ぶりのぶっつけ本番となった。さらに体重は15キロの大幅減。ファンから単勝1番人気に推されたものの、オッズ的にはアンタエ



5月2日 駿蹄賞 エムエスクイーン

ウス、サウスグラストップの3強ムードだった。しかし、そんな不安要素もどこ吹く風。いつも通りに、エムエスクイーンは速くて、強かった。無傷の10連勝&重賞V4をいとも鮮やかに飾ってみせた。

セールスポイントのスピードと持続力で終始レースを支配した。絶好のスタートを決めて先制すると、軽快ピッチで駆けて主導権を握り続ける。そしてセーフティリードを保って、最後の直線へ。「3コーナーから手ごたえが今イチだった。最後までバタバタしてたね」と今井貴大騎手は振り返ったが、2馬身差快勝で、第1関門をあっさりパスした。「八分ぐらいのデキ」（竹下直人調教師）での華麗



4月16日 東海クイーンカップ ゴールドリング

な逃亡劇。エムエスクイーンの潜在能力をまざまざと再認識させたパフォーマンスだった。

東海の3歳シーンは、東海ダービー、岐阜金賞、そして秋の鞍へと、このあと9月まで続いていく。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/13	中京ペガスターカップ(3歳)	1600	トリマゴラッキー(牝3)	村上弘樹	名古屋・竹下直人
3/14	名古屋大賞典 JpnⅢ(4歳以上)	1900	グリム(牡4)	武 豊	JRA・野中賢二
3/28	若草賞(3歳牝)	1400	ゴールドリング(牝3)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
4/11	東海桜花賞(4歳以上)	1400	キノステラ(牡7)	岡部 誠	兵庫・田中範雄
4/16	東海クイーンカップ(3歳牝)	1800	ゴールドリング(牝3)	友森翔太郎	名古屋・塚田隆男
5/1	かきつばた記念 JpnⅢ(4歳以上)	1400	ゴールドクイーン(牝4)	古川吉洋	JRA・坂口智康
5/2	駿蹄賞(3歳)	1800	エムエスクイーン(牝3)	今井貴大	名古屋・竹下直人

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●夏も主役はエイシンニシパ

園田競馬の“天皇賞・春”ともいえるべき兵庫大賞典が、今年のそのだ金曜ナイター幕開けとなる5月3日に行われ、2番人気エイシンニシパが重賞9勝目を飾った。この日もロケットスタートを決めた1番人気マイタイザンが連覇を目指し逃げた。内の3番手につけていたエイシンニシパが3コーナー手前から仕掛けて2番手へ。4コーナーではマイタイザンの内から一気に伸びて4馬身差の楽勝。2番手の外にいたタガノゴールドも伸びたが、マイタイザンにはクビ差届かず3着だった。

重賞9勝中5勝が遠征競馬というエイシンニシパ。園田コースでは3ハロン標



5月3日 兵庫大賞典 エイシンニシパ

付近からの動きが悪く惜敗が続いていたが、今年に入って新春賞に続き地元重賞を連勝して悪癖も解消しているようだ。夏以降は、昨年惜敗した摂津盃（8月16日）、姫山菊花賞（10月4日）での雪辱が期待される。両レースとも、巻き返しを期すマイタイザンに、タガノゴールド、キクノソルも加わり好メンバーになりそうだ。

●飛躍期すジンギ

3歳に怪物が出た。兵庫一冠目・菊水賞を圧勝したジンギだ。JRAに登録されたが、未出走で兵庫へ転入してきた。3戦2勝、2着1回から4戦目の園田ユースカップ（1400メートル）では、逃げる笠松・ボルドーブラージュをクビ差捕まえて勝利。距離が1700メートルに延び



4月11日 菊水賞 ジンギ

た菊水賞はさらに強かった。園田で唯一、先着を許していたアイオブザタイガーを2番手で追うと、3コーナーで交わり、直線追走してきたテンマダイウエーブに5馬身差をつけ重賞2連勝。二冠目の兵庫チャンピオンシップJpnⅡは回避し、三冠目・兵庫ダービーに照準を合わせた。さらに成長して、ジャパンダートダービーJpnⅠ（7月10日・大井2000メートル）に挑戦してほしい。

文●池永博省（大阪日刊スポーツ）

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
3/26	六甲盃(4歳以上)	園田2400	タガノゴールド(牡8)	下原 理	兵庫・新子雅司
4/11	菊水賞(3歳)	園田1700	ジンギ(牡3)	田中 学	兵庫・橋本忠明
5/2	兵庫チャンピオンシップJpnⅡ(3歳)	園田1870	クリソベリル(牡3)	C.ルメール	JRA・音無秀孝
5/3	兵庫大賞典(4歳以上)	園田1870	エイシンニシパ(牡6)	吉村智洋	兵庫・橋本忠明
5/16	のじぎく賞(3歳牝)	園田1700	チャービル(牝3)	中田貴士	兵庫・野田 忍

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●ペース次第で異なる結果に！

3月17日に行われた第7回土佐春花賞はナンヨーオボロツキが7馬身差の圧勝。単騎先行から超のつくスローペースに持ち込み、なおかつ上がり最速を計時されては後続は成す術がなかった。ナンヨーオボロツキはJRAからの転入3戦目での重賞初制覇を達成。勢力図を一気に塗り替えたと思われた。が、4月29日に行われた第23回黒潮皐月賞では3着に敗退。序盤からペースを上げられる厳しい展開に泣き、逆に土佐春花賞では不発に終わったアルネゴーが馬場の真ん中を豪快に突き抜けた。今年の3歳世代は展開、ペースひとつで勝ち馬が変わる混戦ムー



3月17日 土佐春花賞 ナンヨーオボロツキ

ド。そこから一步、抜け出す馬が誕生するのか、今後の動向に注目だ。

●節目を迎えた看板レース！

5月2日に行われた第10回福永洋一記念。王者サクラレグナムが不在であり、どの馬にもチャンスのある一戦だったが、その中で見事に制したのがコスタアレグレだった。倉兼育康騎手との息の合った単騎先行から、ゴール前では赤岡修次騎手のキャプテンオリオンとの追撃をアタマ差、凌いでマイル重賞2勝目。4月の二十四万石賞をスキップし、福永洋一記念一本に絞ったローテーションも味方になった印象があった。レースの熱戦もさることながら、節目の10回目ということで当日はイベント各種も充実。特



5月2日 福永洋一記念 コスタアレグレ

別ゲストとして来場した草野仁さんはトークショー、パドック解説の進行、表彰式でのプレゼンターと大車輪の活躍を見せてくれた。今年は福永祐一騎手も、晴れてダービージョッキーとして登壇。まだ歴史の浅い重賞だが、次の10年へ向け実に印象深い福永洋一記念となった。

文●風間恒一（中島高級競馬場）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性別)	騎手名	所属・調教師名
3/17	土佐春花賞(3歳)	1300	ナンヨーオボロツキ(牝3)	永森大智	高知・雑賀正光
3/21	黒船賞JpnⅢ(4歳以上)	1400	サクセスエナジー(牡5)	松山弘平	JRA・北出成人
3/31	御厨人窟賞(4歳以上)	1400	サクラレグナム(牡10)	赤岡修次	高知・田中 守
4/21	二十四万石賞(4歳以上)	1900	エイシンファイヤー(牡7)	山崎雅由	高知・松本啓助
4/29	黒潮皐月賞(3歳)	1400	アルネゴー(牡3)	倉兼育康	高知・細川忠義
5/2	福永洋一記念(4歳以上)	1600	コスタアレグレ(牡9)	倉兼育康	高知・別府真司

佐賀競馬



場番号 61#

●グレイトパール地方重賞初制覇

佐賀記念JpnⅢで地方最先着の4着だったグレイトパールは、笠松のオグリキヤップ記念に遠征。内枠で包まれる展開の不利もあり、4着同着に終わった。しかし、地元に戻った佐賀スプリングカップでは、直線抜け出して前年覇者のキングプライドに5馬身差をつけ圧勝し、地方重賞初勝利。「今後は未定ですが、広いコースが向いていますし、距離は長い方がいいので、この馬に合ったレースを探していきたいですね」(川田孝好調教師)と、吉野ヶ里記念などの地元短距離路線には向かわず、他場遠征に再挑戦となりそうだ。



5月12日 佐賀スプリングカップ グレイトパール

●地元へ敵なしスーパージンガ

花吹雪賞で重賞初制覇のスーパージンガは、飛燕賞で2着に敗れたものの、続くB級3組で勝利し巻き返すと、ル・プランタン賞で他場(笠松・兵庫・高知)からの遠征馬を迎え撃ち、ナンヨーオボロツキ(高知)に4馬身差で勝利。さらに佐賀皐月賞では4馬身差、九州ダービー栄城賞で5馬身差をつける圧勝続きで3歳重賞計4勝を挙げ、佐賀3歳二冠を達成した。ロータスクラウン賞(9月1日)での三冠制覇に大きな期待がかかるが、佐賀の3歳重賞は同レースを残すのみ。「佐賀では3歳同士で使えるところがしばらくないので、これからは遠征に力を入れていきたい」(渡辺博文調教師)と、強敵を外へ求める方針だ。佐賀デビュー馬は、転入馬が出走できない九州ジュニア



5月26日 九州ダービー栄城賞 スーパージンガ
チャンピオンを勝ったローズカラーが春にJRAへ転出。転入馬との対戦で重賞勝ちはないが、佐賀皐月賞ではスターオブジーン、九州ダービー栄城賞ではムーンパスノキセキが、二冠ともにスーパージンガに大きな差をつけられたものの、2着に好走した。夏に力をつけ、スーパージンガの1強状態を打破する存在が現れて欲しいものだ。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2019年3月～2019年5月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
3/10	はがくれ大賞典(3歳以上)	2000	エイシンニシバ(牡6)	吉村智洋	兵庫・橋本忠明
4/7	ル・プランタン賞(3歳牝)	1800	スーパージンガ(牝3)	真島正徳	佐賀・渡辺博文
4/21	佐賀皐月賞(3歳)	1800	スーパージンガ(牝3)	真島正徳	佐賀・渡辺博文
5/12	佐賀スプリングカップ(3歳以上)	1800	グレイトパール(牡6)	鮫島克也	佐賀・川田孝好
5/26	九州ダービー栄城賞(3歳)	2000	スーパージンガ(牝3)	真島正徳	佐賀・渡辺博文

競馬場別
騎手リーディング Top3

(2019年1月1日～5月21日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	304	72	37	38	23.7	35.9	20,402,000
2	阿部武臣	383	61	58	51	15.9	31.1	16,571,000
3	西 謙一	368	56	55	44	15.2	30.2	15,431,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	石川 倭	86	17	14	19	19.8	36.0	15,528,000
2	服部茂史	62	15	7	12	24.2	35.5	12,005,000
3	阿部 龍	63	14	5	6	22.2	30.2	17,687,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	村上 忍	194	39	24	35	20.1	32.5	27,946,000
2	山本聡哉	187	34	26	30	18.2	32.1	19,725,000
3	山本政聡	192	33	29	18	17.2	32.3	16,539,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	青柳正義	175	28	19	20	16.0	26.9	14,131,000
2	中島龍也	136	26	22	14	19.1	35.3	14,826,000
3	米倉 知	70	26	7	7	37.1	47.1	11,109,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	佐藤友則	185	57	33	19	30.8	48.6	21,834,000
2	筒井勇介	245	45	37	33	18.4	33.5	15,106,500
3	水野 翔	248	41	40	34	16.5	32.7	14,825,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	313	84	69	32	26.8	48.9	42,995,000
2	村上弘樹	310	55	43	35	17.7	31.6	30,401,000
3	丸野勝虎	258	45	33	28	17.4	30.2	19,589,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	459	121	88	58	26.4	45.5	107,806,000
2	下原 理	458	115	74	54	25.1	41.3	97,552,000
3	田中 学	443	85	82	74	19.2	37.7	84,781,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	永森大智	310	85	65	42	27.4	48.4	58,607,000
2	赤岡修次	316	79	63	46	25.0	44.9	58,927,000
3	宮川 実	281	62	41	39	22.1	36.7	40,743,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	337	99	68	48	29.4	49.6	42,741,500
2	鮫島克也	275	52	43	31	18.9	34.5	34,787,000
3	倉富隆一郎	305	50	36	35	16.4	28.2	19,375,000

ジョッキーインタビュー

取材・文 ● 浅野靖典

竹吉徹騎手はデビュー2年目の2007年から年間40～50勝前後の成績が続いていたが、最近2年は60勝台をマーク。2019年はこれまで以上のペースで勝ち星を積み上げている。

技術的にどこかが変わったとか、そういう感覚は自分としてはあまり持っていないですね。それでも以前よりは落ち着いて乗れるようになって、レース中の視野が広がったかなという感じはします。佐賀は先行することが必須みたいところがあって、その先入観が強すぎて結果としてあせりにつながっていたと思うのですが、最近はそうなることが少なくなりました。ここ何年かは、前半は楽に行かせて3コーナーあたりから一気に追い出していくというイメージで乗っています。

竹吉騎手のレース騎乗数は、佐賀所属騎手のなかではトップを争うほど多い。

ありがたいなと思いますね。調教は以前と変わらず、午前0時半から9時くらいまで20頭以上に乗っています。ウチの厩舎に手伝いに来てくれる調教厩務員さんがいるので、すこし時間に余裕が出る分ではかの厩舎の攻め馬に乗れていることが、騎乗数につながっているのかなと思います。でもやっぱり佐賀は人手不足が続いていますね。開催日も頭数は少ないのですが、0時半から乗っています。

そういう日々だと遠征にも行きにくくなりそうなものだが、それでも2018年は園田FCスプリントでエイシンテキサスに騎乗して、同着ながら重賞勝利を成し遂げた。

ゴールの瞬間は、後ろから伸びてきた馬（高知所属のカイロス）の勢いがすごくて、負けたと思いましたね。検量室前に戻ってきて、厩務員さんも写真判定の結果が出る前に厩舎に帰ろうとしていました。でもそ

れが同着だと知らされたあの瞬間は、本当にうれしかったですね。

竹吉騎手は佐賀の条件クラスの重賞は勝ったことがあるものの、オープンクラスの重賞を制したのは初めてとなった。

あの馬に乗るようになったのは、あるレースで山口勲さんの乗る馬が重なって、それで回ってきたことがきっかけです。東眞市厩舎には以前から攻め馬に乗せていただいていた、その流れからというのもあったと思います。僕が乗るようになってしばらくはイマイチでしたが、短い距離を使ったことで良さが出ましたね。園田では人気もあまりなかったのも、自分自身にムダな力が入っていなかったことが良かったのかな。でもあとでレース映像を見たら、普段のクセなのか、内ラチから離れたところを通して逃げていましたね（笑）。

それでも竹吉騎手は、ビッグタイトルまであと少しのところまで行ったことがある。2014年にテッドとのコンビで、佐賀の3歳三冠（当時）ですべて2着に入った。

あの時の九州ダービー栄城賞は、ものすごい前崩れでした。テッドは距離が丈夫なのかどうか、心配しながら乗っていたのですが、最後に抜け出したところで脚が止まってしまいました。それにしても、負けたのが高知の馬というのが……。ロータスクラウン賞でも高知の別の馬に負けてしまいましたし。

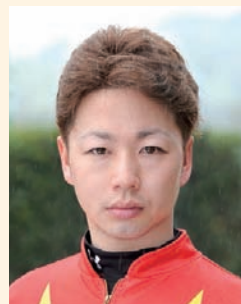
その九州ダービー栄城賞で高知のオールラウンドに乗っていたのが、同世代の田中純騎手。佐賀は山口勲騎手を筆頭に50歳前後の騎手が活躍中だが、いつまでもベテラン勢に天下を取らせているわけにもいかない。

それはそう思うのですが、自分が乗って動かなかった馬が、乗り替わったとたんに勝つとか、そういうことがあるんですよ。

山口さんは特にそうですが、技術はもちろん高いものがありますし、自分が乗りやすい展開に持っていけるんですよ。いろいろと見習いたいとは思いますが、僕が乗りにくいと感じた馬に山口さんが乗って「全然そんなことないよ」と言われると、もはや自分との違いはなんなのか、そ

竹吉 徹（佐賀）

たけよし とおる



1988年7月18日生まれ かに座 A型
広島県出身 山田義人厩舎
初騎乗／2006年5月4日
地方通算成績／7,503戦618勝
服色／赤、銅黄星散らし
重賞勝ち鞍／園田FCスプリント、九州ジュニアチャンピオン（17年度までのS2重賞を除く）
※2019年5月23日現在

れすら分からないという感じがしてしまいます。

成績的に山口勲騎手は佐賀のなかで別格という存在ではあるが、山口騎手以外の上位争いは、以前よりも混戦になっている。

ただ、去年は（船橋から期間限定騎乗で来た）岡村健司騎手がけっこう勝っていきまし、重賞になると（兵庫の）吉村智洋騎手などが乗りに来たりしているわけですから、つまり佐賀の騎手はそういう立場、状況なんだと自覚しています。佐賀の重賞は佐賀の騎手が勝つのが理想ですよ。

その状況を打破するためには、何かのきっかけが必要なのかもしれない。

自分としても、何かひとつでも抜け出したいという思いがありますね。さっき、技術的に変わったという感じはないと言いましたが、結婚して子供ができたという点は以前と違うところです。独身のころは自分が困らない程度なら、という感覚も多少はありましたが、今はそういうわけにいかないですからね。もっと頑張らないと、という気持ちが出てきたのは間違いありません。と同時に、ケガをしないようにと考えるようにもなりました。馬に無理をさせることなく、楽に勝たせられるような騎手になればと思っています。

とはいえ、春は2歳馬が入ってくるシーズン。危険を伴うことも多いだろう。

今年、自分が担当している2歳馬はおとなしいので大丈夫（笑）。でも牧場でそれほど乗られてきた馬ではないので、ひとつひとつ教えながら進めています。高知競馬は新馬戦が復活して、活躍馬が出ましたよね。佐賀も砂が深いところは高知と同じですから、ここにも2歳馬がたくさん来てほしいなと思います。そのなかで、いい出会いがあればうれしいですね。



写真 ● 兵庫県競馬組合

エイシンテキサス（奥）で1着同着だった園田FCスプリント

トップジョッキーに コースの特徴を聞きました

取材・文●浅野靖典

内側は本当に深い？

佐賀競馬場といえば、各騎手がインコースを大きく空けて走らせるというのが特徴的。しかし本当にインはダメなのだろうか。まずは元騎手の東眞市調教師に聞いてみた。

「僕が現役だったころは内ラチ沿いの競馬だったんですよ。でも危険防止の観点からインコースの砂を厚くして、いちばん深いときで最内が18cmでした。今は15cmくらいになっていると思いますが、真ん中あたりが10cmですから全然違いますよね。個人的にはもう少しインを回っても大丈夫だろうとは思いますが、インコースがまったく使えない週もあるんですよ」

山口勲騎手も「インはダメですね(笑)。4月の始め頃なんか、逃げ馬が通るような場所まで深かったんですよ。だから調教のときにみんなで内側を使うようにして、多少はマシになってきました」

と、インコースを完全否定。佐賀の砂は粒が大きいので、脚が深くまでもぐりやすい。それでエネルギーを消費するよりは、距離ロスのほうがいいということのようだ。

愛知から移籍してきた兒島真二騎手はどう感じているのだろうか。

「1400mの内枠だと先手を取りきれればいいんですが、外に速い馬がいると厳しくなりがち。逆も同じで、内枠にスタートが速い馬がいるときの外枠は厳しいですよ。ただ、個人的には、雨が降ったら内も外もあまり変わらなくなるとは思うんですよね」

小回りで逃げ先行タイプが有利というのは、各騎手が共通して持っている認識のようだが「頭を使わないといけないコース」(兒島騎手)でもあるらしい。

枠順については田中直人騎手も「外枠だと自在に動ける感じがありますね。逆に内枠の先行馬だと行くしかないので、先行争いで負けると1コーナーでレースが終わってしまいます」と話していた。その日の馬場の状況については、各騎手とも朝の調教時に確認しているようで「今週はハロー車1台分が使えないとか、そのあたりは頭に入れますね」と村松翔太騎手。その上で「みんなが外を通る流れになったとき、多少は深くても内を回って、少しでも上の着順を目指すこともあります」とのことだ。

期間限定騎乗中の石川駿介騎手も「佐賀は特殊ですね。でも乗りかたを工夫することで、力量的に下の馬でも着狙いができる馬場だとは思います」と感じているようだ。

また、倉富隆一郎騎手からは興味深い話

があった。「逃げた馬が力量上位で、その馬に馬場の真ん中を通られると、後続はどうしようもなくなります。内から上がろうとすると馬体を寄せられて砂が深いところに持って行かれるし、外を回ったら自分が損するだけ。そういう馬がいるレースでは逆らうことができないですね」

深い馬場での攻めかたは？

2018年デビューの出水拓人騎手にも聞いてみよう。「1300mで逃げ切れても、1400mだと粘れないケースが多いと思います。ただ、そういう馬でも雨の1400mなら粘れることがあるんです。そういう馬場ですから減量の効果がありますよ。僕自身、2kg減から1kg減になったとき、伸びが以前とは違うと感じました」

近々、佐賀でデビューする予定の騎手がいるそうで、この点は覚えておいてもいいかもしれない。

佐賀競馬場は2017年の8月から9月にかけて、開催せずに馬場の改修を実施した。「それからは、雨が降ると砂が流れるようになりましたね」と話したのは石川慎将騎手。「向正面の外側は砂が軽いので、そこで外に出すことを考えています。そのために、1コーナーまでに狙うのは2番手あたり。ただ、その位置を取るために無理をすると、最後に止まってしまう。それから向正面は外でも、3コーナーでも外を回ると厳しいですね。だから気を付けていることは何かと聞かれば“位置取りとコース取り”。強い馬に乗ればそんなことを



写真●NAR(1991年撮影)

考えなくてもいいんですけど(笑)」

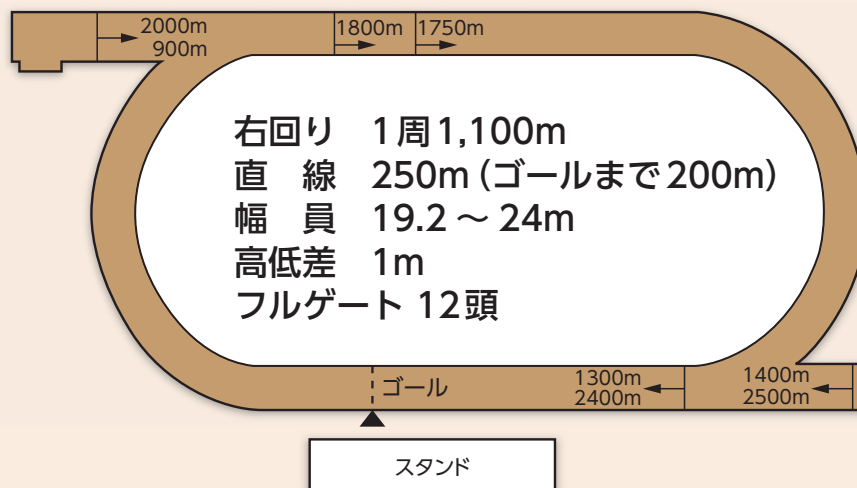
彼もまた「この競馬場は頭を使わないとダメ」と話していた。そして「佐賀競馬場は広いように見えて、狭いんですよ」とも。

確かに幅員はあっても、使えるエリアは他の競馬場に比べると少ない。インを通れば砂に力を吸い取られ、外を通れば遠回り。佐賀競馬のレースは人気順どおりに決着して、その着差も大きいというレースがしばしば見られるが、そのなかでも各騎手はいろいろと考えているようだ。

一方、取材日の最終レース(B2クラス)は豪快な内容だった。逃げ馬を追いかけた3頭が、外ラチに近い場所を伸びてきたのだ。そのレースについて、長田進仁騎手が解説してくれた。「力がある馬が先手を取って、でも2番手以下の馬の実力に大きな差がなければ、残り600mくらいから動く逆転できることがあります。例えると、競艇の全速ターンみたいなイメージ」とのこと。「4コーナーを大きく回るとスピードに乗れるし、外の砂は軽いから伸びもいいし。そうならば多少の距離ロスなんか関係ないですね」

その一戦は山口勲騎手の馬が単勝1.4倍だったが、結果はクビ差での辛勝。ネットで馬券の売上が伸びる最終レースは特に、山口騎手に人気が集まりがち。そういうとき、馬場の特徴を念頭に置いて予想すると、妙味につながる可能性があるように感じた。

佐賀競馬場



7月→9月 注目レース 佐賀競馬 データ分析

7～9月の佐賀競馬では、古馬の中距離路線は昨年新設された佐賀王冠賞が最大目標。一方の短距離路線は、吉野ヶ里記念→JRA交流のサマーチャンピオンJpnⅢが王道路線となる。また、佐賀競馬らしい九

実施日	レース名(条件)	距離	前年の勝ち馬(所属)
7/7(日)	佐賀王冠賞(3歳以上)	2000m	スーパーマックス(佐賀)
7/21(日)	吉野ヶ里記念(3歳以上)	1400m	ウルトラカイザー(佐賀)
7/30(火)	霧島賞(3歳以上)	1400m	コウユウヌレフ(JRA)
8/14(水)	サマーチャンピオンJpnⅢ(3歳以上)	1400m	エイシンバランサー(兵庫)
9/1(日)	ロータスクラウン賞(3歳)	2000m	スーパージェット(佐賀)

州産限定の霧島賞(JRA1000万下交流)も行われる。3歳馬は、4月の佐賀皐月賞、5月の九州ダービー栄城賞に続く三冠の最終戦・ロータスクラウン賞に注目。17年はこも勝ってスーパーマックスが三冠を達成、18年はスーパージェットがダービーと二冠を獲得した。また、このレースは10月に盛

岡で実施されるダービーグランプリの指定競走にもなっている。2歳重賞は組まれていないが、10月の九州ジュニアチャンピオンのステップ競走が行われる。ここでは荒尾競馬が廃止された翌年の12年以降、過去7回の吉野ヶ里記念、ロータスクラウン賞から傾向を探っていく。

7/21 吉野ヶ里記念

●ステップ競走上位馬を信頼

- ◇単勝1番人気は3勝、2着2回で、3着はなし。着外になった2頭はともに田中直人騎手だった。16年を除いて、単勝1～3番人気のうち最低2頭は3着以内に入線している。
- ◇メンバー中、佐賀での勝利数が多い馬は、2勝、2着3回、3着なし(着外の2頭中1頭は競走中止)で複勝率

71.4%と信頼度が高い。

- ◇ステップ競走(2レース実施されていた17年までは格上のレースを対象)の連対馬は出走12頭で、4勝、2着3回、3着2回で複勝率75.0%と堅実。なお今年のステップは7月4日の大分川特別。
- ◇牝馬は、出走8頭ながら、1勝、3着3回(競走中止1頭)で複勝率50.0%。近3年はいずれも紅一点が3着以内に好走。17、18年と連続で3着のベルmontナイトは、2年とも佐賀ヴィーナスカップ

(17年新設)に出走していた。

- ◇2000年の第1回(当時は2500m)から連覇はなく、連続好走も過去7回ではマイネルパルフェ(14年3着、15年2着)、ベルmontナイト(17、18年3着)があるのみ。
- ◇山口勲騎手が騎乗7回で2勝、2着2回、3着2回、鮫島克也騎手は6回騎乗し1勝、2着2回、3着1回。12、15、17年は2人とも3着以内を確保し、毎年、どちらかは3着以内に入っている。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
18.7.22 佐賀1400m 曇・良 9頭	8	9	ウルトラカイザー(佐賀)	牡10	56	真島正	真島元	1.27.8	1	4-4-3-1	[ST] 水無月賞①	A級特別①
	4	4	サンマルドライヴ(佐賀)	牡5	56	鮫島克	西久政	1 1/2	3	5-6-5-4	佐賀王冠賞②	A級特別③
	6	6	ベルmontナイト(佐賀)	牝7	54	渡辺博	柳井宏	7	6	6-5-6-6	A級特別③	佐賀ヴィーナスC⑥
17.7.23 佐賀1400m 曇・重 8頭	8	9	マサヤ(佐賀)	牡6	56	山口勲	東眞市	1.29.1	1	1-1-1-1	[ST] 水無月賞①	A級特別①
	4	4	イッセイイチダイ(佐賀)	牡5	56	鮫島克	東眞市	1 1/4	2	3-3-3-2	A級特別①	A2級①
	5	5	ベルmontナイト(佐賀)	牝6	54	渡辺博	柳井宏	5	4	2-2-2-3	佐賀ヴィーナスC⑥	A級特別②
16.7.24 佐賀1400m 曇・良 10頭	1	1	カシノタロン(佐賀)	牝5	54	石川慎	山下定	1.28.6	4	2-3-4-2	A級特別①	A級特別④
	8	10	ティエムチカラ(佐賀)	牡6	56	山口勲	坂井孝	1 1/2	1	1-1-1-1	[ST] 水無月賞①	A級特別①
	2	2	カーバ(佐賀)	牡7	56	渡辺博	濱田一	クビ	6	5-5-5-4	A級特別④	A級特別②

※[ST]はステップ競走(16、17年は上級ステップ)

9/1 ロータスクラウン賞

●春の二冠出走馬に注目

- ◇単勝1番人気が7連勝中。3着以内馬21頭中15頭が3番人気以内で、上位人気3頭で決まったのが14、15、18年の3回。人気馬が堅実な成績。
- ◇四国との交流戦で、高知が出走10頭で1勝、2、3着各2回で複勝率50.0%。14年には、出走した2頭とも3着以内(1、3着)に入っている。なお高知勢で馬券に絡んだ5頭中4頭は別府真司厩舎所属。17年2着ナムラミルクは8番人気、16年

2着イツモシアワセは6番人気で人気薄でも侮れない。

- ◇九州ダービー栄城賞(16年までは高知所属馬も出走可能)で3着以内だった21頭中12頭が出走し、5勝、2着2回、3着3回で複勝率83.3%。1着馬は5頭が出走し4勝、3着1回でオール3着以内の好相性となっている。
- ◇一冠目が佐賀皐月賞になった17年以降の2回では、17年は三冠を達成したスーパーマックス、3着ガブリキック(佐賀皐月賞4着、九州ダービー6着)とメンバー中で二冠ともに使われていた2頭

ともが3着以内に入線。18年は該当3頭のうちベルセルク(同2、3着)が3着に入っている。

- ◇3着以内21頭のうち佐賀所属は16頭で、そのうち13頭が前走時点で古馬編入済み。18年1着スーパージェットは前走A級特別で4着。3歳格付の3頭はステップの佐賀城特選で1着(今年は8月12日)だった。
- ◇山口勲騎手が6回騎乗し、1勝、2着2回、3着3回で複勝率100%。17年3着ガブリキックは7番人気で、参戦があればマークは欠かせない。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
18.10.1 佐賀2000m 晴・不良 12頭	6	7	スーパージェット(佐賀)	牡3	56	吉村智	九日俊	2.11.8	1	8-8-5-2	A級特別④	4走前(九州ダービー①)
	5	6	マイメン(佐賀)	牝3	54	山口勲	東眞市	2	3	7-7-7-4	B級1組特別③	B級2組特別①
	1	1	ベルセルク(佐賀)	牡3	56	吉原寛	真島元	1 1/2	2	6-3-4-3	B級1組特別④	5走前(九州ダービー③)
17.9.24 佐賀1800m 曇・良 8頭	7	7	スーパーマックス(佐賀)	牡3	56	鮫島克	九日俊	1.57.2	1	1-1-1-1	J小倉・小倉日経OP⑧	4走前(九州ダービー①)
	5	5	ナムラミルク(高知)	牝3	54	山崎雅	別府真	6	8	7-7-7-4	高知・3歳特別⑥	高知・3歳特別④
	2	2	ガブリキック(佐賀)	牡3	56	山口勲	東眞市	1 1/2	7	3-3-2-3	B級4組⑤	6走前(九州ダービー⑥)
16.10.2 佐賀1800m 晴・不良 11頭	7	8	ドンプリムローズ(佐賀)	牝3	54	真島正	真島元	1.56.5	1	2-2-2-1	九州ダービー①	ル・プランタン賞①
	8	10	イツモシアワセ(高知)	牝3	54	山口以	別府真	4	6	11-11-10-3	高知・C2級特別⑤	10走前(九州ダービー⑨)
	2	2	ティエムマケンゲナ(佐賀)	牝3	54	田中純	坂井孝	5	10	8-8-8-7	B級3組⑤	B級2組特別⑥

佐賀競馬場

サイヤーランキング

取得賞金 & 勝利数

2017年5月1日～2019年4月30日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(2472レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
キンシャサノキセキ	50,243	40	310	28	ヒラボクラーシュ
ローズインメイ	48,292	60	376	35	コウユウメレフ
ヴァーミリアン	39,919	34	298	25	ラインシュナイダー
クロフネ	31,414	45	437	30	キョウワカイザー
サウスヴィグラス	29,094	46	210	23	キングプライド
キングカメハメハ	28,341	34	249	24	トップディーヴォ
アツミラーレ	27,195	36	331	20	マイメン
メイショウボーラー	26,278	59	591	37	クラウンスカイ
フレンチデビュティ	25,826	11	46	7	ルールンヴァール
アグネスデジタル	24,922	44	173	19	シゲルクロマグロ

■900m(208レース)

アグネスデジタル	3,186	6	14	8	シゲルクロマグロ
メイショウボーラー	2,673	3	48	19	カシノジャスミン
マツリダゴッホ	1,917	6	42	19	パラヴィオン

■1300m(684レース)

メイショウボーラー	5,142	19	141	21	サンマルゴージャス
モンテロッソ	4,846	17	89	18	サンライズアイドル
ジャングルポケット	4,463	14	163	24	レッドヴォヤージュ

■1400m(1340レース)

ローズインメイ	37,153	29	243	30	コウユウメレフ
ヴァーミリアン	28,713	15	133	18	ラインシュナイダー
Ghostzapper	21,681	4	6	2	エイシヨバランサー

■1750メートル(113レース) + 1800m(106レース)

サウスヴィグラス	10,084	8	32	8	キングプライド
クロフネ	8,783	7	54	11	キョウワカイザー
アツミラーレ	8,350	4	72	12	マイメン

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利頭数	活躍馬(勝利数順)
ローズインメイ	60	56	376	35	23	カシノアイガー
メイショウボーラー	59	63	591	37	22	クラウンスカイ
タイキシャトル	56	30	240	28	15	シゲルボインター
ジャングルポケット	54	55	725	37	21	ジャングルターザン
ゴールドアリュール	51	31	262	23	15	ビービーリフレクト
カジノドライブ	47	36	334	19	14	レッドゼルク
サウスヴィグラス	46	33	210	23	14	キミダケノヒーロー
クロフネ	45	57	437	30	22	キョウワカイザー
アグネスデジタル	44	23	173	19	14	シゲルクロマグロ
キンシャサノキセキ	40	54	310	28	15	ツースターク

マツリダゴッホ	6	8	42	19	5	パラヴィオン
アグネスデジタル	6	1	14	8	4	シゲルクロマグロ
ジャングルポケット	5	3	71	14	5	マイネルエフォート

メイショウボーラー	19	13	141	21	12	サンマルゴージャス
モンテロッソ	17	13	89	18	13	サンライズアイドル
ローズインメイ	16	11	63	13	11	スマートロデム

ゴールドアリュール	37	21	172	19	9	ビービーリフレクト
メイショウボーラー	33	36	333	31	15	クラウンスカイ
ジャングルポケット	32	31	416	33	14	ダイメイビット

ローズインメイ	13	5	52	14	5	オリンピアスカイ
キングカメハメハ	9	6	46	13	4	デリッツァリモーネ
カジノドライブ	9	4	53	9	5	サンマルドライブ

※2000m、2500mはレース数が少ないため割愛した

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

ル・プランタン賞 / 佐賀卓月賞
九州ダービー栄城賞

スーパージンガ

2016年4月30日生まれ 牝 栗毛 佐賀・渡辺博文厩舎
生産・パンプー牧場(浦河郡浦河町)

パンプーエール 栗毛2003	アフリート(CAN) 栗毛1984	Mr.Pro prospector PoliteLady
	レインボウウッド(GB) 栗毛1991	Rainbow Quest Priceless Fame
ヴィカパンプー 鹿毛2011	アドマイヤムーン 鹿毛2003	エンドスウィープ(USA) マイケイティーズ
	ティコティコタック 栗毛1997	サッカーボーイ ワンアイトパンプー

4月21日の佐賀卓月賞を勝ったスーパージンガ。その後も5月26日の九州ダービー栄城賞を勝利し、花吹雪賞、ル・プランタン賞も含む重賞4勝目を挙げている。

父パンプーエールは5歳時の2008年にJBCスプリント(園田1400m)を勝利。重賞勝ちには他に東京盃(大井1200m)、クラスターC(盛岡1200m)があり、全て1400m以下ということから、スプリンターのイメージがあるかもしれないが、3歳時にはジャパンダートダービー、ダービーグランプリと、2000mのGIでも2着に入っていた。6歳時はクラスターC、東京盃を連勝し、JBCスプリントの連覇が期待されたが、東京盃の2日後に屈腱炎が判明し、翌年から

種牡馬入りしている。

初年度の種付料は20万円(受胎確認後)。注目度は低く、毎年、10頭前後という種付数で、血統登録頭数も5～7頭と少ないが、ここまで4世代の24頭が出走し、スーパージンガ以外にも岐阜金賞、園田オートマトロフィーを勝ち兵庫ダービーやダービーグランプリで2着のクリノヒビキ、平和賞2着、戸塚記念3着のキャスルクラウン、JRAでは秋嶺S(1600万下)のダンツゴウユウ、舞浜特別(1000万下)のサニードンサーと2頭の特別勝ち馬を送っている。スーパージンガの重賞勝ちには1800m～2000mで、クリノヒビキも1700m以上の重賞で活躍。ダンツゴウユウの秋嶺Sも1600mと、1600m以上の距離での好成績が目立つ。

パンプーエールの父アフリートは1987年の米GIジェロームH(ダート8F)を勝ち、26歳の2010年まで16年間の長きにわたり日本で供用された名種牡馬。桜花賞馬プリモディーネの他、JBCスプリントのスターリングローズは種牡馬としても成功を収め、アルゼンチン共和国杯のアスカクリチャンなどを出している。そして母の父レインボウクウェストは凱旋門賞馬で、種牡馬としては天皇賞・春などGI・2勝の



ル・プランタン賞を制したスーパージンガ

サクラローレルなどを出しており、この血が産駒にスタミナを伝えているのだろう。

スーパージンガは牝系も優秀だ。母ヴィカパンプーは名古屋のダート1400mを大差勝ち。祖母ティコティコタックは2000年の秋華賞馬で、さらに牝系を遡ると、3代母ワンアイトパンプー、4代母ドロレスパンプー、5代母シエンパンプー、6代母ブラックパンプーまで“パンプー”の冠名が付いている。父パンプーエールもパンプー牧場の生産馬であり、生粋のホームメイド血統と言えるだろう。ちなみにワンアイトパンプーはその名の通り片目を失明して競走馬にはなれなかったが、ブライアンズタイム産駒という期待の血統ということもあって繁殖牝馬として残され、見事GI馬の母、スーパージンガの曾祖母となった。生産牧場には血の更新も必要だが、このように代々続いた血を残していくのも大切なこと。こういう血統の馬から活躍馬が出るのは、血統で競馬を見ている筆者としても嬉しいことである。

DIRT GRADE DATA 作戦

第23回 スパーキング レディーカップ JpnⅢ 7月4日(木)

3歳以上牝馬 川崎 1600m
1着賞金 2500万円
フルゲート 14頭

18.7.5 川崎 1600m 曇・良	③③	リエノテソーロ(JRA)	牝4	55	吉田隼人	1.40.8	3人
	⑧⑫	オウケンビリーヴ(JRA)	牝5	55	C.ルメール	1/2	1
	⑥⑨	ラビットラン(JRA)	牝4	57	川田将雅	1 1/2	4
	単勝③ 440円 枠連複(3-8) 1,210円 馬連複(3-12) 1,270円 枠連単(3-8) 2,020円 馬連単(3-12) 2,470円 3連複(3-9-12) 2,090円 3連単(3-12-9) 11,410円						
17.7.6 川崎 1600m 晴・稍重	⑥⑦	アンジュデジュール(JRA)	牝3	52	横山典弘	1.41.6	2人
	⑦⑩	ララベル(大井)	牝5	55	真島大輔	1 1/2	4
	④④	タイニーダンサー(JRA)	牝4	57	内田博幸	3	5
	単勝⑦ 440円 枠連複(6-7) 1,870円 馬連複(7-10) 2,000円 枠連単(6-7) 3,460円 馬連単(7-10) 3,650円 3連複(4-7-10) 6,580円 3連単(7-10-4) 26,480円						
16.7.6 川崎 1600m 晴・良	⑧⑩	ホワイトフーガ(JRA)	牝4	58	蛭名正義	1.40.5	1人
	⑦⑧	ブルーチップー(大井)	牝6	55	森 泰斗	2	4
	⑥⑥	タイニーダンサー(JRA)	牝3	54	内田博幸	6	3
	単勝⑩ 200円 枠連複(7-8) 830円 馬連複(8-10) 750円 枠連単(8-7) 1,300円 馬連単(10-8) 1,180円 3連複(6-8-10) 550円 3連単(10-8-6) 2,730円						

●ローテーションは不問

3着以内馬の臨戦過程はさまざま。2018年の1着リエノテソーロと3着ラビットランは、前走芝のGI・ヴィクトリアマイルを使われていた。13年1着のメーデイアも同レースをステップにしての出走だった。特に芝・ダート兼用馬は、ダート替わりでの巻き返しに注意したい。3歳馬もアンジュデジュールやタイニーダンサー、サマリズが好走。中でも前走関東オークスの連対馬が有力だ。その他ではマリーンカップやさきたま杯、かしわ記念、中央のオープン特別組の好走もあるが、いずれにしても前走1着の好調馬は少ない。仮に着順が悪くても、相手関係をj考えて評価することが重要だ。

第21回 ジャパンダート ダービー JpnI 7月10日(水)

3歳 大井 2000m
1着賞金 4500万円
フルゲート 16頭

18.7.11 大井 2000m 晴・良	①	ルヴァンスレーヴ (JRA)	牡3	56	M.デムーロ	2.05.8	1人
	⑧	オメガパフューム (JRA)	牡3	56	川田将雅	1 1/2	4
	③	グレートタイム (JRA)	牡3	56	C.ルメール	クビ	3
	単勝① 220円 枠連複(1-8) 1,030円 馬連複(1-14) 1,000円 枠連単(1-8) 1,550円 馬連単(1-14) 1,510円 3連複(1-3-14) 1,560円 3連単(1-14-3) 6,060円						
17.7.12 大井 2000m 晴・良	③	ヒガシウィルウィン(船橋)	牡3	56	本田正重	2.05.8	5人
	⑤	サンライズソア (JRA)	牡3	56	川田将雅	クビ	4
	③	タガノディゴ (JRA)	牡3	56	川島信二	1	2
	単勝④ 1,020円 枠連複(3-5) 940円 馬連複(4-8) 3,080円 枠連単(3-5) 1,770円 馬連単(4-8) 7,500円 3連複(3-4-8) 3,050円 3連単(4-8-3) 28,450円						
16.7.13 大井 2000m 曇・良	⑤	キョウエイギア (JRA)	牡3	56	戸崎圭太	2.05.7	4人
	⑦	ケイティブレイブ (JRA)	牡3	56	武 豊	4	3
	⑤	ゴールドドリーム (JRA)	牡3	56	川田将雅	1 3/4	1
	単勝⑦ 1,420円 枠連複(5-8) 540円 馬連複(7-13) 2,420円 枠連単(5-8) 1,050円 馬連単(7-13) 6,510円 3連複(6-7-13) 1,830円 3連単(7-13-6) 22,780円						

●実績ある中央馬の地力を信頼

3歳ダート王者決定戦にふさわしいレース。年によって出走馬のレベルに違いはあるものの、その時点での世代トップクラスが集まる。近年は中央馬の勝利が多く、中心の座は揺るがないと見ていい。前走レースを見ると、ユニコーンステークスか鳳雛ステークスの勝ち馬が有力。古馬混合の1000万クラスを勝っている馬も互角に戦えるものの、オーブングラスのレースをしっかりと勝利している馬の方が勝ちやすいようだ。厳密には大井 2000mの適性も重要なのだが、レースの時点ではわからないことの方が普通。初コースを気にしても仕方がなく、地力を信頼するべきだ。

第23回 マーキュリーカップ JpnⅢ 7月15日(祝・月)

3歳以上 盛岡 2000m
1着賞金 2300万円
フルゲート 14頭

18.7.16 盛岡 2000m 曇・良	⑥⑩	ミツバ(JRA)	牡6	55	松山弘平	2.03.5	2人
	⑤⑧	ヨシオ(JRA)	牡5	54	戸崎圭太	1	4
	⑧⑭	フェニックスマーク(JRA)	牡4	54	横山典弘	4	1
	単勝⑩ 220円 枠連複(5-6)770円 馬連複(8-10)940円 馬連単(10-8)1,530円 3連複(8-10-14)450円 3連単(10-8-14)3,320円						
17.7.17 盛岡 2000m 曇・稍重	②②	ミツバ(JRA)	牡5	54	松山弘平	2.02.1	1人
	③③	ピオネロ(JRA)	牡6	54	戸崎圭太	クビ	2
	④⑤	クリノスターオー(JRA)	牡7	56	幸 英明	1/2	3
	単勝② 230円 枠連複(2-3)220円 馬連複(2-3)220円 馬連単(2-3)450円 3連複(2-3-5)340円 3連単(2-3-5)1,190円						
16.7.18 盛岡 2000m 曇・良	⑧⑬	ストロングサウザー(JRA)	牡5	55	田邊裕信	2.02.4	2人
	①①	タイムズアロー(船橋)	牡8	54	真島大輔	2	9
	⑥⑩	マイネルバイカ(JRA)	牡7	55	柴田大知	ハナ	5
	単勝⑬ 470円 枠連複(1-8)13,440円 馬連複(1-13)18,670円 馬連単(13-1)20,420円 3連複(1-10-13)23,090円 3連単(13-1-10)179,810円						
15.7.20 盛岡 2000m 曇・良	⑧⑭	ユーロビート(大井)	牡6	54	吉原寛人	2.07.8	6人
	⑤⑦	ソリタリーキング(JRA)	牡8	58	福永祐一	6	3
	⑦⑫	トウショウフリーク(JRA)	牡8	54	戸崎圭太	1	5
	単勝⑭ 2,720円 枠連複(5-8)2,770円 馬連複(7-14)4,300円 馬連単(14-7)10,350円 3連複(7-12-14)9,850円 3連単(14-7-12)112,860円						
14.7.21 盛岡 2000m 晴・良	⑥⑨	ナイスミーチュア(JRA)	牡7	55	小牧 太	R 2.01.9	4人
	⑦⑪	クリソライト(JRA)	牡4	59	内田博幸	1/2	3
	④⑤	シビルウォー(JRA)	牡9	59	若田康誠	2 1/2	6
	単勝⑨ 780円 枠連複(6-7)4,070円 馬連複(9-11)3,110円 馬連単(9-11)7,100円 3連複(5-9-11)8,380円 3連単(9-11-5)54,580円						

●昔からリピーターの存在が目立つ

2017年は1→2→3番人気で決着するなど過去2年は1、2番人気とともに3着以内に入っており、非常に堅い配当だ。両年の勝ち馬はミツバ。2000m以上のレースを得意としており、2019年には川崎記念を制するに至った。連覇は1999年、2000年のオースミジェット以来、史上2頭目。ただ、3着以内まで広げれば、スナークレイアースやクワリンガー、シビルウォー、ソリタリーキングといった馬が複数回好走。つまり昔からリピーターの存在が目立つレースとなっている。

ステップとしては平安ステークス組が最有力。同レースが5月に移行した13年以降、毎年1頭は3着以内に入っている。あとは、東京ダート2100mのオープン特別・プリリアントステークスも好ステップ。穴は前走地方重賞を使っている馬で、過去5年では帝王賞5着シビルウォー(14年、6番人気3着)や、同4着ユーロビート(15年、6番人気1着)が3着以内に入っている。勝ち馬との着差にもよるが、GI/JpnIで善戦していた成績を軽視された印象だ。

第24回 クラスターカップ JpnⅢ 8月12日(振・月)

3歳以上 盛岡 1200m
1着賞金 2300万円
フルゲート 14頭

18.8.15 盛岡 1200m 曇・良	③④	オウケンビリーヴ(JRA)	牝5	52	北村友一	1.09.1	3人
	⑥⑨	ネロ(JRA)	牡7	55	吉原寛人	クビ	4
	④⑤	ラブバレット(岩手)	牡7	54	山本聡哉	6	2
	単勝④ 440円 枠連複(3-6) 390円 馬連複(4-9) 1,170円 馬連単(4-9) 2,270円 3連複(4-5-9) 1,170円 3連単(4-9-5) 8,080円						
17.8.15 盛岡 1200m 小雨・稍重	①①	ブルドッグボス(浦和)	牡5	54	左海誠二	R 1.08.8	4人
	⑧⑬	ラブバレット(岩手)	牡6	54	山本聡哉	クビ	3
	⑥⑨	サイタスリーレッド(JRA)	牡4	54	高倉 稜	2	1
	単勝① 720円 枠連複(1-8) 1,210円 馬連複(1-13) 1,040円 馬連単(1-13) 2,120円 3連複(1-9-13) 1,160円 3連単(1-13-9) 8,940円						
16.8.16 盛岡 1200m 曇・稍重	④⑤	ダノンレジェンド(JRA)	牡6	60	M.デムーロ	1.09.1	2人
	①①	ブルドッグボス(JRA)	牡4	54	C.ルメール	2	1
	⑧⑭	ラブバレット(岩手)	牡5	54	山本聡哉	4	5
	単勝⑤ 250円 枠連複(1-4) 180円 馬連複(1-5) 200円 馬連単(5-1) 490円 3連複(1-5-14) 790円 3連単(5-1-14) 3,140円						
15.8.12 盛岡 1200m 曇・良	⑥⑩	ダノンレジェンド(JRA)	牡5	56	M.デムーロ	1.11.1	1人
	③④	ポアゾンブラック(北海道)	牡6	54	阪野 学	6	3
	⑧⑬	ラブバレット(岩手)	牡4	54	南郷家全	4	6
	単勝⑩ 140円 枠連複(3-6) 270円 馬連複(4-10) 310円 馬連単(10-4) 360円 3連複(4-10-13) 1,650円 3連単(10-4-13) 3,920円						
14.8.13 盛岡 1200m 曇・稍重	⑥⑨	サマリズ(JRA)	牝4	52	藤岡佑介	1.09.7	4人
	⑧⑬	スイートジュエリー(JRA)	牝5	52	戸崎圭太	クビ	2
	⑧⑭	シルクフォーチュン(JRA)	牡8	56	藤岡康太	1 3/4	3
	単勝⑨ 690円 枠連複(6-8) 700円 馬連複(9-13) 1,100円 馬連単(9-13) 2,670円 3連複(9-13-14) 1,520円 3連単(9-13-14) 8,620円						

●手ごろな重量の好調馬に注目

2018年は1番人気のディオスコリダが4着に敗れた。前年末のカペラスステークス以来で、長期休養明けが響いたのかも知れない。その年に勝ったオウケンビリーヴは前走スパーキングレディーカップで2着。重賞未勝利のため重量は52キロだった。14年1着のサマリズ、同年2着のスイートジュエリーも同じ52キロ。牡馬に換算すると54キロで、この重量で好走している馬が多い(17年は1着から3着まで独占)。別定戦ではあるが、手ごろな重量の好調馬がいれば注目したい。

一方で、連覇を達成した16年のダノンレジェンド(60キロ)や2着だった13年のタイセイレジェンド(59キロ)のように重い重量の馬の好走もある。過去にGI/JpnI勝ちがある実績馬であれば、過酷な重量でも地力を見せてくる。

地方勢は地元岩手のラブバレットが目下、4年連続で3着以内と好走している。その他では15年にはポアゾンブラック(北海道)、13年にはラブミーチャン(笠松)が連対しており、ともにGI/JpnIでの連対実績があった。



写真●岩手県競馬組合



写真●岩手県競馬組合

第19回 サマーチャンピオン JpnⅢ 8月14日(水) 3歳以上 佐賀 1400m 1着賞金 2100万円 フルゲート 12頭



写真●佐賀県競馬組合

18.8.14 佐賀 1400m 晴・良	8 ⑩ エイシンバランサー(兵庫) 牡6 55 下原 理 1.25.7 5人	5 ③ ブルミラコ(JRA) 牡6 56 秋山真一郎 1/2 4	7 ⑧ ヨシオ(JRA) 牡5 55 戸崎圭太 1 1/2 1
17.8.16 佐賀 1400m 曇・不良	7 ⑨ ラインシュナイダー(JRA) 牡5 54 武 豊 1.26.1 2人	3 ③ タムロミラクル(JRA) 牡5 55 福永祐一 アタマ 3	8 ⑩ ウインムート(JRA) 牡4 55 D.ホワイト 1 1/2 1
16.8.18 佐賀 1400m 晴・良	4 ④ グレイスフルリープ(JRA) 牡6 57 小牧 太 1.25.7 1人	5 ⑥ ワンダーコロアル(JRA) 牡7 55 幸 英明 4 3	6 ⑦ タガノネール(JRA) 牡6 57.5 川田将雅 3/4 2
15.8.18 佐賀 1400m 晴・重	6 ⑧ タガノネール(JRA) 牡5 56 川田将雅 1.26.2 1人	7 ⑩ タガノジנגガロ(兵庫) 牡8 56 山口 勲 2 1/2 5	5 ⑤ レーザーバレット(JRA) 牡7 56.5 横山典弘 1/2 3
14.8.19 佐賀 1400m 雨・不良	4 ④ エーシンビートロン(JRA) 牡8 56 武幸四郎 1.26.1 2人	2 ② ピッチシフター(名古屋) 牝4 52 大畑雅章 5 5	8 ⑩ タガノジングガロ(兵庫) 牡7 56 木村 健 ハナ 4

●上位人気は強いが地方馬にもチャンス

過去5年で3着以内に入った馬の内訳は、中央馬が11頭で地方馬が4頭となっている。中央馬の好ステップはプロキオンステークスだが、同レース組は減少傾向。とはいえ、大敗馬でも巻き返してくる可能性が高く、出てくれば有力ではある。代わりによくくなっているのがオープン特別組。基本的には1400mに出走していた馬で、こちらも大敗馬の巻き返しがある。前走ダートグレード組は案外少なく、2018年3着のヨシオや、15年3着のレーザーバレットといった前走2着馬が好走傾向にある。あとは、前走1600万クラスを勝ったばかりのウインムートが、17年に1番人気で3着。メンバー的には、格下馬でも勢いがあれば十分乗り切れるレースだ。

地方馬は18年にエイシンバランサー(兵庫)が5番人気で優勝した。15年2着のタガノジングガロも兵庫の馬で、両馬とも前走で笠松のサマーカップを勝っていた。地元のレースでも構わないので、とにかく前走1着の馬にチャンスがある。全体的には5番人気以内の組み合わせで決まるレースだ。

第31回 ブリーダーズ ゴールドカップ JpnⅢ 8月15日(木) 3歳以上牝馬 門別 2000m 1着賞金 3100万円 フルゲート 16頭

18.8.16 門別 2000m 曇・不良	6 ⑪ ラビットラン(JRA) 牝4 57 M.デムーロ 2.05.6 3人	4 ⑥ プリンシアコメータ(JRA) 牝5 56 戸崎圭太 4 4	8 ⑤ クイーンマンボ(JRA) 牝4 57 C.ルメール 3 1
17.8.17 門別 2000m 曇・重	8 ⑪ マイティティ(JRA) 牝5 55 池添謙一 2.08.4 6人	5 ⑤ クイーンマンボ(JRA) 牝3 55 C.ルメール 3/4 1	1 ① オージャイト(JRA) 牝4 55 福永祐一 6 4
16.8.11 門別 2000m 晴・良	8 ⑩ アムールブリエ(JRA) 牝5 57 濱中 俊 2.08.7 1人	5 ⑤ タイニーダンサー(JRA) 牝3 55 桑村真明 7 3	4 ④ ビービーパレル(JRA) 牝3 54 武 豊 1 1/2 2

●人気サイドで決着も前残り要注意

JBCレディスクラシックに直結するレースで、出走馬のレベルは高い。基本的には人気サイドで決まりやすいのだが、展開の粉れは常に想定しておきたい。特に前々でレースを運んだ馬が残るケースには注意。18年は4番人気のプリンシアコメータが2着に好走し、17年は6番人気のマイティティが逃げ切った。このレースに限らず、逃げ馬が穴をあけるケースは多々ある。

あとは3歳馬が古馬に対してどれだけ食い下がるかだが、傾向としては、力があってもいきなり勝ち切るのは難しい。このレースでの経験を経て、強くなる可能性を考えたい。

第30回 テレ玉杯 オーバルスプリント JpnⅢ 9月12日(木) 3歳以上 浦和 1400m 1着賞金 2100万円 フルゲート 12頭

18.9.24 浦和 1400m 曇・稍重	2 ② ノブワイルド(浦和) 牡6 54 左海誠二 1.26.1 4人	8 ⑫ オウケンビリーヴ(JRA) 牝5 53 北村友一 3/4 2	6 ⑧ トーセンハルカゼ(浦和) 牡8 54 真島大輔 ハナ 9
17.9.20 浦和 1400m 曇・稍重	6 ⑦ サイタスリーレッド(JRA) 牡4 54 戸崎圭太 1.25.1 2人	3 ③ レーザーバレット(JRA) 牡9 56 岩田康誠 2 5	5 ⑤ ブルドッグボス(浦和) 牡5 55 左海誠二 1 1/2 3
16.9.15 浦和 1400m 曇・重	5 ⑤ レーザーバレット(JRA) 牡8 55 戸崎圭太 1.25.8 5人	7 ⑩ ソルテ(大井) 牡6 57 吉原寛人 1/2 1	8 ⑫ レガルスイ(船橋) 牡5 54 石崎 駿 2 7

●逃げ馬が残りやすい

過去5年の1番人気の成績は【0・2・1・2】と未勝利で近2年は3着以内にも入っていない。前走ダートグレードを勝利していたソルテ(2016年)やタガノネール(15年)、エーシンビートロン(14年)は馬券対象になったが、前走で負けていた1番人気馬は4着以下に敗れている。基本的には前走ダートグレード善戦馬から中心を選びたいが、この点は注意だ。また、逃げ馬が強い点も特徴。18年は前走浦和の1400mで大差勝ちしていたノブワイルド(浦和)が、勢いでこも押し切り金星を挙げた。差し馬でも勝機は十分あるが、その場合でも2、3着には逃げ馬が残りやすい。

第66回 日本テレビ盃 JpnⅡ 9月23日(祝・月) 3歳以上 船橋 1800m 1着賞金 3200万円 フルゲート 14頭

18.10.3 船橋 1800m 曇・稍重	5 ⑥ ケイティブレイブ(JRA) 牡5 58 福永祐一 1.52.5 1人	4 ④ アポロケンタッキー(JRA) 牡6 57 J.モレイラ 2 2	7 ⑨ サウンドトゥルー(JRA) 牡8 58 御神本訓史 1 1/2 3
17.9.27 船橋 1800m 曇・稍重	8 ⑪ アポロケンタッキー(JRA) 牡5 58 内田博幸 1.52.9 4人	2 ② サウンドトゥルー(JRA) 牡7 58 大野拓弥 クビ 3	3 ⑩ ケイティブレイブ(JRA) 牡4 58 福永祐一 3/4 1
16.9.28 船橋 1800m 曇・重	7 ⑩ アウオーディー(JRA) 牡6 56 武 豊 1.52.0 1人	4 ⑤ モーニン(JRA) 牡4 58 戸崎圭太 アタマ 3	6 ⑨ サウンドトゥルー(JRA) 牡6 58 大野拓弥 5 2

●前走帝王賞組が中心で堅い決着

2018年はケイティブレイブ→アポロケンタッキー→サウンドトゥルーの順で人気通りの決着。着順は入れ替わっているが、17年と同じ3頭が上位を占めた。めずらしい現象とはいえ、いずれも前走で帝王賞であり、地力、実績ともに上位だったことは間違いない。同今年の帝王賞で5着以内だった馬は中心視できる。

ただ、それ以前の年ではアウオーディー(16年)やサウンドトゥルー(15年)が上がり馬的な存在で、実績馬を打ち負かしている。後のGI/JpnIでも通用するような馬は、いきなり好勝負になるが、基本的には人気サイドで決まる堅いレースだ。

LOTO 高額配当ランキング 2019年3月1日～2019年5月31日

[五重勝単勝式]

第1位	3,215,590円(2口)	3/27 園田
第2位	2,725,480円(2口)	4/14 佐賀
第3位	2,250,730円(3口)	5/5 帯広

[七重勝単勝式]

第1位	589,810円(7口)	5/11 帯広
-----	--------------	---------

読者プレゼント

①竹吉 徹騎手
直筆サイン色紙…2名様
提供：竹吉 徹騎手



②オッズパークオリジナルお箸…10名様
提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkをご利用してのご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は7月22日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、南関東 … ナイター開催当日12:00 ~

DG ダートグレード開催日 (重賞) 重賞開催日
 ☆: 薄暮取扱 ★: ナイター取扱

7月	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水		
ばんえい 帯 広	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★	★			ばんえい	
ホッカイドウ 門 別			★	★ 重賞					★	★	★					★	★ 重賞	★ 重賞					★	★	★ 重賞					★	★	ホッカ イドウ	
岩 手 盛岡／水沢	水沢 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆ DG					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆					盛岡 ☆	盛岡 ☆ 重賞	盛岡 ☆		岩手		
金 沢		☆					☆			☆ 重賞				☆		☆					☆			☆ 重賞				☆		☆ 重賞		金沢	
笠 松				重賞														重賞														笠松	
名 古 屋															重賞																	名古屋	
兵 庫 園田／姫路			園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	兵庫
高 知						★	★							★	★					★	★ 重賞						★	★				高知	
佐 賀				☆			☆ 重賞						☆		☆					☆	☆ 重賞						☆				☆ 重賞		佐賀
南関DG				★川崎 DG							★大井 DG																					南関東	

8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
ばんえい 帯 広			★	★ 重賞	★					★	★ 重賞	★					★	★	★					★	★	★					★	ばんえい
ホッカイドウ 門 別	★ 重賞					★	★	★					★	★ 重賞	★ DG					★	★	★					★	★	★ 重賞			ホッカ イドウ
岩 手 盛岡／水沢			盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					盛岡	岩手
			☆	☆ 重賞	☆					☆	☆ 重賞	☆ DG					☆	☆ 重賞	☆					☆	☆ 重賞	☆					☆	
金 沢				☆		☆						☆	☆					☆			☆ 重賞				☆ 重賞		☆					金沢
笠 松															重賞													重賞			笠松	
名 古 屋																																名古屋
兵 庫 園田／姫路	園田	園田					園田	園田	園田						園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田	兵庫
		★							★							★ 重賞							★							★		
高 知			★	★													★	★						★	★ 重賞						★	高知
佐 賀			☆	☆							☆	☆		☆ DG				☆							☆	☆					☆	佐賀
南関DG																																南関東

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
ばんえい 帯 広	★ 重賞	★					★	★	★					★	★	★					★	★ 重賞	★					★	★ 重賞	★	ばんえい
ホッカイドウ 門 別			★	★	★					★	★	★ 重賞					★	★	★ 重賞					★	★ 重賞	★					ホッカイドウ
岩 手 盛岡／水沢	盛岡 重賞	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡					盛岡	盛岡	盛岡	岩手
金 沢	★		★ 重賞					★ 重賞		★					★		★							★	★				★ 重賞		金沢
笠 松																															笠松
名 古 屋			重賞																重賞												名古屋
兵 庫 園田／姫路				園田	園田	園田	★ 重賞	重賞					園田	園田	園田				園田	園田	園田					園田	園田	園田			兵庫
高 知	★ 重賞						★	★							★	★ 重賞						★ 重賞	★								高知
佐 賀	★ 重賞						★	★						★	★							★	★					★	★		佐賀
南関DG												浦和 DG												船橋 DG							南関東

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。
 ※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2019年7月~9月)

7月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	門別	4(木)	第5回 グランシャリオ門別スプリント	重賞	3歳以上	1,000 地方全国交流
	川崎	4(木)	第23回 スパーキングレディーカップJpnⅢ	DG	3歳以上牝馬	1,600 中央・地方全国交流
	笠松	4(木)	第43回 クイーンカップ	重賞	3歳牝馬	1,600 北陸・東海・近畿地区交流
	帯広	7(日)	第13回 柏林賞	重賞	4歳	200
	盛岡	7(日)	第20回 オパールカップ	重賞	3歳	芝1,700 地方全国交流
	佐賀	7(日)	第2回 佐賀王冠賞	重賞	3歳以上	2,000
	金沢	9(火)	第2回 日本海スプリント	重賞	3歳以上	900 北陸・東海地区交流
	大井	10(水)	第21回 ジャパンダートダービー JpnI	DG	3歳	2,000 中央・地方全国交流
	盛岡	14(日)	第51回 岩鷲賞	重賞	3歳以上	1,200
	盛岡	15(祝・月)	第23回 マーキュリーカップ(メイセイオペラ記念) JpnⅢ	DG	3歳以上	2,000 中央・地方全国交流
	名古屋	15(祝・月)	第23回 名港盃	重賞	3歳以上	1,900 北陸・東海・近畿地区交流
	門別	17(水)	第16回 星雲賞	重賞	3歳以上	1,600 地方全国交流
	門別	18(木)	第18回 ノースクイーンカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,800 地方全国交流
	笠松	18(木)	第42回 サマーカップ	重賞	3歳以上	1,400 北陸・東海・近畿地区交流
	帯広	21(日)	第27回 北斗賞	重賞	3歳以上	200
	盛岡	21(日)	第7回 ハヤテスプリント	重賞	3歳	1,200 地方全国交流
	高知	21(日)	第16回 トレノ賞	重賞	3歳以上	1,300
	佐賀	21(日)	第21回 吉野ヶ里記念	重賞	3歳以上	1,400
	金沢	23(火)	第17回 金沢スプリントカップ	重賞	3歳以上	1,400 北陸・東海・近畿地区交流
	門別	25(木)	第13回 フリーダーズゴールドジュニアカップ	重賞	2歳	1,700
	園田	26(金)	第12回 兵庫サマークイーン賞	重賞	3歳以上牝馬	1,700 地方全国交流
	盛岡	28(日)	第41回 せきさい賞	重賞	3歳以上	芝2,400 地方全国交流
	金沢	30(火)	第63回 MRO金賞	重賞	3歳	1,900 北陸・東海・近畿地区交流
	佐賀	30(火)	第23回 霧島賞	重賞	3歳以上九州産馬	1,400 中央1000万下・地方全国交流
8月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	門別	1(木)	第40回 王冠賞	重賞	3歳	1,800 地方全国交流
	帯広	4(日)	第44回 ばんえい大賞典	重賞	3歳	200
	盛岡	4(日)	第33回 ひまわり賞(オークス)	重賞	3歳牝馬	2,000
	帯広	11(祝・日)	第31回 ばんえいグランプリ	重賞	3歳以上	200 ファン投票
	盛岡	11(祝・日)	第20回 若鮎賞	重賞	2歳	芝1,600
	盛岡	12(振・月)	第24回 クラスタースタートカップJpnⅢ	DG	3歳以上	1,200 中央・地方全国交流
	門別	14(水)	第19回 エトワール賞	重賞	3歳以上	1,200 地方全国交流
	佐賀	14(水)	第19回 サマーチャンピオンJpnⅢ	DG	3歳以上	1,400 中央・地方全国交流
	門別	15(木)	第31回 フリーダーズゴールドカップJpnⅢ	DG	3歳以上牝馬	2,000 中央・地方全国交流
	門別	15(木)	第6回 フルーツカップ	重賞	2歳牝馬	1,000 地方全国交流
	笠松	15(木)	第48回 くらゆり賞	重賞	3歳以上	1,600 地方全国交流
	園田	16(金)	第51回 摂津盃	重賞	3歳以上	1,700
	水沢	18(日)	第39回 ダイヤモンドカップ	重賞	3歳	1,600
	金沢	20(火)	第37回 読売レディス杯	重賞	3歳以上牝馬	1,500 地方全国交流
	水沢	25(日)	第45回 ビューチフルドリーマーカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,900 地方全国交流
	金沢	25(日)	第6回 加賀友禅賞	重賞	3歳牝馬	1,400
	高知	25(日)	第42回 建依別賞	重賞	3歳以上	1,400
	門別	29(木)	第16回 リリーカップ	重賞	2歳牝馬	1,200 地方全国交流
	笠松	29(木)	第43回 岐阜金賞	重賞	3歳	1,900 北陸・東海・近畿地区交流
9月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	帯広	1(日)	第31回 はまなす賞	重賞	3歳・4歳	200
	盛岡	1(日)	第37回 ビギナーズカップ	重賞	2歳	1,400
	高知	1(日)	第23回 黒潮菊花賞	重賞	3歳	1,900
	佐賀	1(日)	第16回 ロータスクラウン賞	重賞	3歳	2,000 四国・九州地区交流
	金沢	3(火)	第15回 イヌワシ賞	重賞	3歳以上	2,000 地方全国交流
	名古屋	3(火)	第30回 秋の鞍	重賞	3歳	1,800 地方全国交流
	園田	5(木)	第2回 園田オータムトロフィー	重賞	3歳	1,700
	園田	6(金)	第16回 園田チャレンジカップ	重賞	3歳以上	1,400 北陸・東海・近畿地区交流
	盛岡	8(日)	第27回 青藍賞	重賞	3歳以上	1,600
	金沢	8(日)	第54回 サラブレッド大賞典	重賞	3歳	2,000
	門別	12(木)	第5回 旭岳賞	重賞	3歳以上	2,000 地方全国交流
	浦和	12(木)	第30回 テレ玉杯オーバルスプリントJpnⅢ	DG	3歳以上	1,400 中央・地方全国交流
	盛岡	15(日)	第21回 ジュニアグランプリ	重賞	2歳	芝1,600 地方全国交流
	盛岡	16(祝・月)	第51回 不來方賞	重賞	3歳	2,000
	高知	16(祝・月)	第4回 西日本ダービー	重賞	3歳	1,900 北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	門別	19(木)	第19回 フローラルカップ	重賞	2歳牝馬	1,600 地方全国交流
	名古屋	19(木)	第13回 秋桜賞	重賞	3歳以上牝馬	1,400 地方全国交流
	帯広	22(日)	第55回 岩見沢記念	重賞	3歳以上	200
	盛岡	22(日)	第21回 岩手県知事杯OROカップ	重賞	3歳以上	芝1,700 地方全国交流
	高知	22(日)	第31回 珊瑚冠賞	重賞	3歳以上	1,900
	船橋	23(祝・月)	第66回 日本テレビ盃JpnII	DG	3歳以上	1,800 中央・地方全国交流
	門別	25(水)	第19回 イノセントカップ	重賞	2歳	1,200 地方全国交流
	園田	26(木)	第21回 園田プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400 地方全国交流
	帯広	29(日)	第27回 銀河賞	重賞	4歳	200
	金沢	29(日)	第14回 金沢プリンセスカップ	重賞	2歳牝馬	1,400

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

8.14(水)

真夏の 王者 決定戦!

2018年優勝馬
/エイシンパランサー
騎手
/下原 理



第19回



サマーチャンピオン

佐賀競馬場 / 1400m

キャンペーン
開催決定!

詳細はオッズパーク
サイトで8月上旬に
発表します。

● オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行会員のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式	三連勝	重勝式		投票方式			レース実況
					枠番 普通 (馬番)	馬番 拡大 (ワイド)			セレクト5	セレクト7	ランダム7	電話投票ARS	インターネット投票 オッズパーク クラシック 携帯投票	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddspark.com/>
携帯
<http://m.oddspark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddspark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認ください。お間違のないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。